目　　次

Ⅰ．総括研究報告

ゲームに関連した生活障害等の問題、併存する疾患及びその対応等の実態把握に資する研究 ---------- 1

研究代表者　治徳　大介（東京科学大学）

II．分担研究報告

１．ゲームに関連した問題で医療機関を受診した患者の実態調査 ------- 16

松﨑　尊信（久里浜医療センター）

２．ゲームに関連した問題で医療機関を受診した患者の年齢によるゲーム行動や対応法の実態調査 ---------- 20

館農　勝（札幌医科大学）

３．IGDS9-SF-Jの標準化と小学校高学年から中学生における適用可能性の検討 ---------- 26

井上　建（獨協医科大学埼玉医療センター）

４．相談家族等の実態調査：ゲーム行動症当事者家族へのインタビュー調査 ---------- 28

高野　歩（国立精神・神経医療研究センター）

５．インターネット依存専門治療外来の治療転帰に関する研究 ------- 38

三原　聡子（久里浜医療センター）

６．文献reviewと対応法に関する提言 ---------- 41

治徳　大介（東京科学大学）

III．研究成果の刊行に関する一覧表 ---------- 48